

これらの点は温帯に属し急斜面が多い日本とは大きく異なる点であろう。現在、わが国においても建築の分野ではドイツの例にならいクリマアトラスを作成する試みが行われており(日本建築学会, 2000), 日本の気候・地形に合わせたものが作られ始めている。先に述べた研究者以外への情報提供の面からも、今後さらに多くの都市について環境情報の提供が行われることを期待する。ただ、中央駅近くのビルの屋上では、交通もしくは工場起源と思われる臭気が気になった。環境対策先進都市ではあるが、必ずしも好環境の都市とはいえない状況であった。

2日目の午前はフライブルク市郊外ハルタイマー(Hartheimer)の森林内の気象観測タワー見学(第4図)、午後はフライブルク市内の都市気候に関する場所を巡るウォーキングツアーが企画された。気象観測タワー周辺の人工林では、1974年から観測がフライブルク大学管理のもとで行われている。開始当時は7mだった樹高も今では12mになり、それに合わせてタワーも30mまで伸ばしたとのことであった。森林内での熱・水収支を傾度法で測定しているが、人手不足か

ら超音波風速計は使用しておらず、EUROFLUXのプロジェクトにも参加していないということであった。平坦な土地で、樹高の2倍のタワーを設置し、しかもフェッチも十分にある観測サイトでありながら、人手が足りないというのは非常に残念に思われた。

(菅原広史・竹林英樹)

謝 辞

著者の一人である大橋唯太は、今回のシンポジウム出席にあたり、日本気象学会国際学術交流委員会より旅費の援助を頂きました。この場を借りて感謝の意を表します。

参 考 文 献

- 一ノ瀬俊明, 1993: シュツットガルトにおける「風の道」～都市計画で都市気候を制御する試み～, 天気, 40, 691-693.
- 一ノ瀬俊明, 1999: ドイツのKlimaanalyse～都市計画のための気候解析～, 天気, 46, 709-715.
- 日本建築学会, 2000: 都市環境のクリマアトラス～気候特性を活かした都市づくり～, ぎょうせい, 113pp.

2001年度秋季大会「スペシャル・セッション」のテーマ募集

2001年度秋季大会(岐阜, 10月10～12日の予定)におけるスペシャル・セッションのテーマと世話人を募集します。スペシャル・セッションにおいては、世話人と講演企画委員会との協議のもとに、通常のセッション編成の枠にとらわれない企画ができます。具体的な実施方法については「天気」1994年2月号(78ページ)をごらん下さい。

なお、申込テーマの重複や総数によっては講演企画委員会で調整をする場合もありますので、ご了承下さい。

応募される方は、下記の事項を期限内にお知らせ下さい。

記入事項:

1. セッションのテーマ
2. 趣旨説明(400字程度)
3. 世話人およびその連絡先(予稿コピーの送付先住所を明記のこと)

以上は秋季大会告示(「天気」5月号予定)の際に掲載されます。

申込先: 〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1
気象研究所予報研究部内
講演企画委員会(永戸久喜)

申込期限: 2001年4月23日(月) 必着